



母親大会オープニング

第11回 ママ友会議

育休中・子育て中・プレママも

●7月18日(祝)13時~15時

●アネックスパル法円坂

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪府中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



市民の手で新しい政治を — 総がかり行動に1000人

母親大会に1200人 — 戦争法廃止へ決意 6月5日

戦争させない・9条壊さない!総がかり行動実行委員会と安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合が呼びかけた「6・5全国総がかり行動」に呼応して6月5日、おおよそ総がかり大行動が梅田で行われ1000人が参加しました。

朝日新聞6月6日付は、「市民連携選挙モード 安保法廃止へ 野党共闘呼びかけ」と見出しをつけ、「大阪の繁華街にも多くの人が集まり、廃止を求めた」と、「戦争法廃止!」を掲げる写真を掲載しました。「安保関連法に反対するママの会@大阪」の西沢加奈子さ



大阪駅前前で「戦争法廃止!」訴え



母親大会教科書分科会

子どもと教科書大阪ネット21事務局長の平井美津子さんが「現職教師として教科書問題に取り組んで」『慰安婦』『原爆孤児』を報告。大阪では維新も首長のもと、首長任

んは生後7か月の長男を抱きながら街宣車の上から、「待機児童が騒がれたのも、一人の人の書き込みで政治を動かした。皆さんの望みをかなえてくれる人に投票しましょう」と訴えました。

子どもたちに平和な未来を

第61回大阪母親大会が6月5日行われ1200人が参加しました。同志社大学の岡野八代さんが「子どもたちに手渡したいのは平和な未来—戦争法廃止のために私たちができること」をテーマに記念講演を行い、「女性は家庭の中で非暴力的な関係を築こうと努力してきた歴史があり、平和を願っている」「ママの会の『だれの子とも殺させない』といった運動が、世界規模に展開することで、無益な戦争を抑止するのことができた」と述べました。

分科会 戦争法と教科書

事務・権限移譲にかかわる要求(案)

1. 「人事給与と制度(素案)」撤回。
 - ①教諭(3級)新設反対。
 - ②職務給の原則徹底の給料表導入反対。
 - ③大阪市の人事評価制度に準拠、評価結果の一部相対化反対。
2. 教員給与に関する人材確保法などの法令、全人連モデル給料表参考の経過尊重。
3. 再任用教職員の賃金改善。
4. 勤務労働条件を後退させないこと。
 - ・妊娠障害休暇・子の看護休暇・産前産後休暇・介護休暇・介護欠勤・短期介護休暇・病欠休暇・生理休暇・管外出張
5. 府費学校事務職員に関する要求
 - ①現行の賃金ベースを下げないこと。
 - ②学校事務職員として一般行政職員と区別。学校に配置。
 - ③標準定数法遵守。独自加配。
 - ④公正な昇格制度実施。休暇制度の代替者府費「臨時主事」同等の職員を配置。
6. 地域手当を16%に引き上げ。
7. 市の権限となる「定数、学級編成基準」の改善。

命の教育委員によって、現場の声を無視する形で育鵬社が採択された、維新府政・市政が日本教育再生機構と橋下氏や松

賃金・労働条件の改善を

権限委譲で後退許さない

井氏と密接な関係をつくり出し、採択区域を変更するなど、入念な準備の下で採択が行われたことを指摘しました。

大阪市教は6月30日、中央委員会・権限委譲、人事給与制度大改悪反対決起集会を開催しました。

大阪市教宮城委員長は「戦争美化の教科書を子どもたちにわたさない大阪市民の会」の活動を報告しました。

市教委は「権限移譲に伴う新たな教職員人事給与と制度の基本的な考え方(素案)」を3月に出しました。市労組連・市教協は、橋下前市長の大

大阪市人事委員会への介入により幼稚園教員、市職員の賃金削減が行われたことから、「給与報告・勧告」が出される前の取り組みが重要であるとして、要請書を提出し5月30日回答を得ました。

市人事委員会は幼稚園教員の給料表について、「本市側と民間側とで、その組織・人事の構造が大きく異なることを留意する必要がある」と、処遇確保の観点からの検討も必要である点について併せて言及したところ、「保育士や幼稚園教員等の職務の重要性を考慮し、給与面に限らず、処遇等を検討していく必要がある」と考え「この言及もしています」と回答し、「怒りが広がった小学校又は中学校の教員と職務の種類が同等とまでは評価できない」とする部分を繰り返しませんでした。今後、人事委員会への要請行動を他

仲間が増えた!

教採突破講座に参加して パワハラ相談で組合加入

今年度の教採突破講座でも組合加入が相次いでいます。第2回の講座に参加した支援員の青年。第3回にも参加し、受付で組合加入をよびかけると、「考えています」との返事が。1次試験免除のため、2次面接の練習をみっちり行いました。講座の感想には「いい雰囲気の中で、とても勉強になる体験をさせていただきました」と書き、組合加入書にも記入しました。

また、校園長のパワハラに悩む青年が組合に相談し、加入しました。

希望と信頼に応える組合の取り組みが、着実に加入につながっています。この輪をつなげ、さらに大きく広げていきましょう。

ゆいまゝる全プロジェクト 沖縄で憲法を見つめる

梅雨の合間の太陽が照りつける中、今年も平和行進が。市内コースに大阪市教からも参加。「青い空は」を歌いながら、憲法9条の大切さを、今年はとりわけ熱い思いを込めて

コールしました。また、「全教員未来をひらくプロジェクト」ゆいまゝるとして、「沖縄に全国から1000人の青年を沖縄へ」と、12月24日(土)〜26日(月)の日程で、大教組全体で50人の代表団の参加をよびかけています。大阪府教では、さっそく青年実行委員会が、学習会や交流会を企画。7月29日(金)には、「憲法学習会」を開催し、憲法を学び、それぞれ

大阪市内の平和行進 7月4日



の沖縄への思いを交流して、みんな「ゆいまゝる(結びつき)」を広げよう。また、8月4日(6日)には、広島で、原水禁世界大会が。すでに青年の参加希望も。「ヒロシマ」への思いも、沖縄への行動も、憲法9条を宝として守ってきたこの国で、二度と同じ過ちを繰り返してはならないと、平和を願う大きな一歩。憲法改悪を許さず、「戦争法」廃止を願う声と共に。

教え子を再び戦場に送るな!